

創刊に向けて

城西大学副学長 于 洋

2020年4月より、国際教育および地域連携担当の副学長に就任いたしました。本学は中期目標（J-Vision）のなかに、人間力をもつ地域社会および国際社会に貢献する人材の育成のため、地域連携、海外連携を強力に推進することを掲げています。この使命を果たすために鋭意努力していく所存でございますので、よろしく願いいたします。

少子高齢化の急進やグローバル化の進展など、大学をとりまく社会的環境が急速に変化しつつあります。このような環境変化に伴い、教育研究を主要なミッションとする大学は、教育研究活動によって生み出された成果を積極的に地域社会および国際社会に発信・還元すること、すなわち大学の地域貢献・国際貢献ということも重要な使命と期待されています。

本学は、理学部、薬学部、経済学部、経営学部、現代政策学部といった文理融合型な学部構成となっています。また、創立されてからの55年間において、地道に積み重ねてきた教育研究の経験・蓄積・成果がたくさんあります。地域貢献・国際貢献に対して、文理融合型の教育資源の活用、教育研究の蓄積と成果の具現化は地域連携センターの役割と考えます。

本学のホームページ（生涯学習・地域連携）に公表されているように、地域連携センターはこれまで実に多くの公開講座、プロジェクト（J-CLIP、TJUP）、ボランティア活動などを積極的に行ってきました。大学と地域とつなげるために大きな役割を果たしています。

この紀要には、地域連携とかわりのある教員・職員の研究成果をまとめただけでなく、令和2年度に城西大学地域連携センターおよび本学教職員が携わってきたさまざまな地域活動の記録も収録されています。これらの活動内容と研究成果は本学の地域連携活動にとって大切なものです。今回の刊行を契機に、学生および教職員の努力の積み重ねによる成果を記録し、本学における今後の地域連携活動の発展に貢献できると確信しています。

日本経済新聞社は全国の国公立大学を対象に、大学が地域社会に対してどのような貢献をしているか調査していることをご存知だと思います。国立大学や公立大学が総合ランキングの上位を占める傾向が続いています。さまざまな背景があると思いますが、私立大学としての本学は上記調査ランキングの上位を目指して、これまで培ってきた文理融合型の教育研究資源を積極的に活用しながら、「地域志向」と「国際志向」とを合わせて、自治体、企業、さらに海外との連携活動を一層邁進していきたいと考えています。

城西大学の教員・職員および学生全員が、地域社会の発展に貢献するために地域連携活動の推進に精一杯取り組んで参ります。改めて本学の地域連携活動への皆様方のご理解と積極的なご参加、ご支援をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。